

福井県立美術館開館  
40周年特別企画展

# 狩野芳崖と四天王

—近代日本画もうひとつの水脈—

9 / 15 金 ▼ 10 / 22 日

休館日●9月19日(火)、25日(月)、10月2日(月)、10日(火)、16日(月)

開館時間●午前9時から午後5時(入館は閉館30分前まで)

※9月15日(金)のみ午前11時開館 ※会期中展示替えがあります。

観覧料●一般・大学生1,000円(団体800円)、

リピーター券1,500円、高校生以下無料

※団体は20名以上 ※障害者手帳等をお持ちの方とその介助者1名半額

主催●福井県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

共催●福井放送株式会社

協賛●ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

協力●日本通運



【重要文化財】  
狩野芳崖「不動明王図」部分  
東京藝術大学

雅邦(朦朧体)の四天王たち  
—大観・観山・春草・孤月—



横山大観「夕立」茨城県近代美術館



菱田春草「春色」豊田市美術館

狩野派の終焉  
—芳崖・雅邦とその周辺—



【重要文化財】  
狩野芳崖「不動明王図」  
東京藝術大学



橋本雅邦「西行法師図」  
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

「近代日本画の父」と称される狩野芳崖の下には4人の高弟がいました。岡倉秋水、岡不崩、高屋肖哲、本多天城の4人です。彼らは芳崖の最晩年に師事し、また芳崖の絶筆「悲母観音図」の制作を間近で目撃しています。そんな彼らは開校間もない東京美術学校において、同期生たちから「芳崖四天王」と称され、目置かれる存在であったと伝えられています。本展は「芳崖四天王」に注目した初めての展覧会です。多数の新作から、知られざる四天王の人と画業を紹介します。また師・芳崖を中心に、狩野派の最後を飾る画家たちの作品や、四天王と同じ時代を生き、岡倉覚三(天心)と共に日本画の革新に挑んだ横山大観、下村観山、菱田春草ら日本美術院の作品一堂に会します。芳崖の創った近代日本画の水脈を辿り、その魅力あふれる作品をご覧ください。

## 関連イベント

■手塚雄二特別館長ギャラリートーク(要観覧券・申込不要)  
9月15日(金) 午後1時45分から(2階会場にて)

■記念講演会「近代日本画と西洋絵画」(聴講無料・申込不要)  
9月23日(土) 午後2時から(講堂にて)  
講師 / 三浦篤氏(東京大学教授)

■特別対談「芳崖四天王コトハジメ」(聴講無料・申込不要)  
10月8日(日) 午後2時から(講堂にて)  
登壇者 / 塩谷純氏(東京文化財研究所文化財情報資料部 近・現代視覚芸術研究室長) × 椎野晃史(当館学芸員)

■トークサロン「展覧会ができるまで」(要事前申込・ドリンク代別途必要)  
10月1日(日)、15日(日) 各回午後5時から(美術館喫茶室ニホにて)  
本展を担当した学芸員が、展覧会の苦労話や裏話をお話します。  
※申込は当館HPをご確認下さい。

## 【同時開催企画展】

開館40周年特別企画展 第1弾 県立美術館200選  
～コレクションが魅せる日本美術の400年 伝統・革新・発展～  
10月22日(日)まで  
福井県立美術館40年間のコレクション約3,000点から  
優品200点を一挙公開!

展示替え情報 10月2日(月)、10日(火)に一部の作品は展示替え致します。

お得なリピーター券! 作品の展示替えのため、会期中2回ご入場いただけます  
リピーター券をご用意しました。2回ご来館される場合はお得なリピーター券をご利用下さい。

巡回先(予定) 山梨県立美術館 / 平成29年11月3日(金・祝)～12月17日(日)  
泉屋博古館分館 / 平成30年9月15日(土)～10月28日(日)

## 交通のご案内

- 福井鉄道・えちぜん鉄道 / 「田原町駅」下車徒歩約8分
- コミュニティバスすまいる(100円) / JR福井駅西口(6番のりば)より、田原・文京方面線15分「県立美術館前」下車。
- 京福バス / JR福井駅西口(2番のりば)より、福井総合病院線(23・26系統)「藤島高校前」下車。※日曜・祝日は運休
- 車・タクシー / JR福井駅より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分。

ご来館はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

福井県立美術館 検索

芳崖四天王って?!



【重要文化財】  
狩野芳崖「伏魔羅漢図」部分  
福井県立美術館

名品200選展  
同時開催中!

同展パスポートのご提示で2割引。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1  
TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

1977-2017  
ANNIVERSARY  
40<sup>TH</sup>

# 師・狩野芳崖とその弟子「芳崖四天王」の作品を一堂に



岡不崩「群蝶図」個人蔵

本草学研究を志した学者画家

## 岡不崩

おかふほう (1869~1940)



岡不崩「白衣観音図」東京・宗慶寺

本名吉壽。明治2年7月13日、福井県大野町、大野藩の藩士の家に生まれる。はじめ狩野友信門に入り、のちに友信の勤めにより芳崖の門を叩く。芳崖没後は、東京美術学校に入学するが、二次次に退学し、図画教育に従事する。後半生は本草学に傾倒し、数多くの著書を残す。不崩の作品には鮮やかな草花図が多く、いずれも植物画として正確である。



高屋肖哲「武帝達磨謁見図」東京・浅草寺



高屋肖哲「千児観音図下絵」金沢美術工芸大学

「仏画師」を自称した異才

## 高屋肖哲

たかやししょうてつ (1866~1945)

本姓は疋田、本名は徳次郎。慶応2年11月2日に現岐阜県大垣市に士族の子として生まれる。19歳で上京し、芳崖に師事。芳崖没後は東京美術学校入学し、第回生として卒業するが、自ら「仏画師」と称し、高野山での参籠や各地の寺院を訪ね歩き、仏教美術研究を志す。仏教主題を扱った作品を多く残し、特に観音像は生涯を通じて描いている。



【重要文化財】狩野芳崖「悲母観音 下図」東京藝術大学

天心の甥、そして芳崖顕彰における最大功労者

## 岡倉秋水

おかぐらしゅうすい (1867~1950)



岡倉秋水「不動明王」個人蔵



岡倉秋水「矢面」福井県立美術館

本名覚平。慶応3年12月11日、福井県福井市老松下町生まれ。岡倉覺三(天心)の6歳年下の甥。芳崖の門に入り早くから鑑画会で活躍する。芳崖没後は東京美術学校に入学するが、岡倉の命を受けて翌年退学し、図画教育に従事する。秋水は芳崖の顕彰に最も積極的に取り組んだ一人で、数回にわたる画集の刊行や遺墨展、芳崖作品の鑑定を行う。

芳崖門下の秀才

## 本多天城

ほんだてんじょう (1867~1946)

本名は佑輔。関宿藩の藩士の子として、江戸深川の藩邸に慶応3年7月に生まれる。幼少より絵や彫り物に親しみ、明治18年に芳崖へ入門。芳崖没後は東京美術学校に入学し、卒業後は同校で助教を務める。天城もまた、秋水と同じく画集の発行や遺墨展など師芳崖の顕彰に携わる。



本多天城「水草」東京藝術大学



本多天城「山水」川越市立美術館